

VOL.38 2017 AUTUMN



学舎 2 号館 近影

The Alumni Association of Science since 1998.
NODA ARCHITECTURAL ASSOCIATION
UNGA PRIDE
Association of Tokyo University



前回の会報でもお知らせさせていただきましたが、2017年度は理工学部が設立されて50年目の節目の年であり、9月と10月に50周年記念イベントが開催されます。今回は様々なイベントのご案内をさせていただきます。

9月23日(土)

9月23日(土)には、10時(予定)から**東京理科大学理工学部創設50周年記念デザインコンペ<利根運河 夢の架橋>の最終審査(公開審査)**が行なわれました。このコンペの課題は、理科大野田キャンパス脇を流れる利根運河に架ける新しい橋の設計で、景観や生態などに配慮した環境整備とランドスケープ等とともに、建設コストや維持管理に充分配慮した歩行者専用の架橋を提案してもらうものです。

コンペの最優秀案は、流山市担当部局における計画案のひとつとされるため、運河が大きく変わる瞬間を目の当たりに出来るかもしれません。

この日の夜には、毎年恒例のイベントとして地域に根付いた、**利根運河シアターナイト**が開催されました。学生が中心となって地域の方々と協力し合い、映像作品を上映や、会場全体に点在するアート展示、幅広い世代が参加できるワークショップなどを行なうイベントです。カフェや飲食店も出店し、毎年多くの人たちで賑わいます。

10月29日(日)

10月29日(日)には、50周年記念事業のメインイベントである**「野田建築50周年大同窓会」**を開催いたします。大同窓会は、年代、研究室の垣根を越え、理工学部建築学科OB・OGが一堂に集うイベントです。

10時から、先ほど紹介させていただいた**50周年記念デザインコンペの出典作品展示**や**企業OB会**、**研究室OB会の展示**、**利根運河シアターナイト展示**を行ないます。野田建築の歴史や、OB/OGの皆様のこれまでご活躍に触れることが出来るかと思えます。

午後には**記念デザインコンペ表彰式**と、**建築家・三分一博志氏(1992年卒、初見研)による特別講演**を開催いたします。三分一氏は、直島ホール(直島町民会館)で2017年日本建築学会賞(作品)を受賞されており、2011年の犬島アートプロジェクト「精錬所」に続く2度目の同賞受賞という偉業を達成されております。

この講演会は参加無料、申し込み不要ですが、座席数に限りがございますので、お早めにお越しくださることをおすすめいたします。

夕方には全学年・研究室・企業を横断した**懇親会**を開催する予定です。会場は、建築学科OBが設計したコミュニケーション棟です。出身研究室別の縦の繋がりでだけでなく、卒業年、企業での横の繋がりを強化し、旧交を温めつつも新たな出会いを演出します。

連絡先が判明しているOB/OGの方々にはイベントのお知らせを送付させて頂いております。詳細につきましては、それをご覧頂くか、理工学部建築学科のホームページ(<http://www.ar.noda.tus.ac.jp/50th/next.html>) または「UNGA NEXT」で検索)をご覧ください。また、10月の大同窓会にはOB/OGの皆様だけでなく、歴代の先生方にもご参加いただける予定です。当日は、皆様お誘い合せのうえ、ぜひご参加ください。

永野研究室 助教 博士(工学) 鈴木 賢人



三分一 博志

2017 10/29 SUN 50周年記念講演会 15:30-17:00

DATA
日時: 2017年10月29日(日) 15:00開場 15:30開演
会場: 東京理科大学野田キャンパス 12号館1211教室
参加費: 無料 当日先着順・申し込み不要
主催: 野田建築50周年記念事業実行委員会
問合せ: ar50unganext@rs.tus.ac.jp

10月29日(日)に、理工学部建築学科とOB会組織である野田建築会の合同主催で「野田建築50周年大同窓会」を開催いたします。大同窓会は、理工学部建築学科OB・OGが一堂に集うイベントです。午後には記念デザインコンペ表彰式、建築家・三分一博志氏(1992年卒、初見研)による特別講演を、夕方には全学年・研究室・企業を横断した懇親会を開催する予定です。



理工学部創設 50 周年記念 デザインコンペの受賞者速報

9月23日(土)に理工学部創設50周年記念 デザインコンペの最終審査が行われ、受賞者が決定しました。

理科大理工学部創設50周年記念デザインコンペ 《利根運河 夢の架け橋》

公開審査会

【日時】2017/09/23(土) 10:00-12:00

【会場】東京理科大学野田キャンパス 講義棟 K103 教室

11名の発表者が模型とスライドを使ったプレゼンテーションを行いました。

表彰式は10月29日(日)の「野田建築50周年大同窓会」懇親会にて行われる予定です。

【会場】東京理科大学野田キャンパス コミュニケーション棟

【時刻】17:30-19:30(「野田建築50周年大同窓会」懇親会)

【懇親会参加フォーム】<http://peatix.com/event/261482>

どうぞ皆様お問い合わせの上、ご参加ください。

最優秀賞

- ◎ 木村友美 (東京藝術大学大学院修士課程)
運河とまちと公園の「結び目」をつくる
2015年度 岩岡竜夫研卒業

優秀賞 (1点)

- 高橋真末 (HAMS Architecture Design) 空の散策路
2007年度 小嶋一浩研卒業
共同設計者: 奥山浩文 (株式会社 久米設計 建築設計部)

佳作 (4点)

- 佐藤康行 (東京理科大学理工学研究科建築学専攻 安原幹研 修士1年生) 森のエントランス
共同設計者: 照井 飛翔 (東京理科大学理工学研究科建築学専攻 垣野義典研 修士1年生)
- 高田 博章 (一級建築士事務所 高田博章建築設計) 風景に溶ける橋 2002年度 奥田宗幸研修了
- 高安 重一 (有限会社 アーキテクチャー・ラボ) plate geometrics の風景
1988年度 奥田宗幸研卒業 共同設計者: 馬場貴志 (馬場貴志構造設計事務所)
- 辻川 樹 (東京理科大学理工学部建築学科 学部3年生) ふたつの架け橋

新任助教のご挨拶



片桐 悠自 (かたぎり ゆうじ)

1989年 東京生まれ
2012年 東京大学工学部建築学科卒業
2012-13年 パリ・ラヴィレット建築大学留学
2014年 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了、修士(工学)
2014-15年 パリ・ラヴィレット建築大学留学
2017年 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了、博士(工学)
2017年~ 東京理科大学理工学部建築学科岩岡竜夫研究室助教

2017年4月から計画系の助教に着任した片桐です。

研究分野は建築意匠で、どのように人間が建築デザインを創造し、伝えるのかという設計プロセスに興味を抱いています。現在、建築家アルド・ロッシと彼の建築運動「テンデンツァ」の理論を扱い、建築ドローイングや空間表現が、どのように他の建築家に影響を与えたのかを研究しています。

大学に入学した当初は、化学を専攻しようとも考えていたのですが、学部時代のサークル活動「東大LEGO部」を通して、建築学科を「選択」しました、これはレゴブロックによる造形表現を行う活動で、これまで東京タワー、スカイツリー、都庁など、一般の人びとが知っている建築作品を再現してきました(写真1)。

その後、大学院修士課程・博士課程の2回にわたり、交換留学生として国立パリ・ラヴィレット建築大学で学び、モダニズム以降の建築運動における建築理論のダイナミクスに対する関心と見識を培いました。

理工学部が創設された1967年は、建築理論・建築運動史において大きなメルクマールの年でもあります。そうしたことから、50周年の節目に野田建築に赴任できたことに大きな巡り合わせを感じ、大変嬉しく思います。

これからどうぞよろしくおねがいたします。



写真1
LEGOによる建築模型《東京タワー》・《東京スカイツリー》
(筆者制作、1/300スケール)

研究室の活動紹介～垣野研究室：研究室を地形化する～



垣野 義典 (かきのよしのり)

1975年 京都生まれ
1999年 東京理科大学工学部建築学科卒業
2001年 東京理科大学大学院理工学研究科建築学専攻修了(初見学研究室)
2004年 東京大学大学院工学研究科建築学専攻修了(長澤泰研究室)
2008年 東京理科大学工学部建築学科 助教
2011年 フィンランド・アアルト大学(旧ヘルシンキ工科大学) 客員研究員
2016年 豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授
2016年 現職

垣野研究室では、ほぼ毎年、研究室を改装してきました。2017年も、4月に新4年生をむかえ7月にかけて学生達が基本設計案を提案、学生間でコンペを行いました。そして木造の地形のような一等案を実際にセルフビルドしました。ここでは、その目的と効果について記します。

① 設計のバランス感覚を磨く

建築を学ぶ学生が自分たちの研究室改装案をつくるので、当然「実験的で面白い設計」を求めます。しかしセルフビルド後は、設計した本人がその空間を使用することになるので、形態先行の設計だと、使いにくく最終的に自分の首をしめることになります。つまりこのプロジェクトは、「実験的で面白い設計」と「機能面をみたます」という二つのバランス感覚を鍛える良い機会といえます。

② 寸法体系を身体にしみこませる

今回の案は、ノートPCを置きやすい800mmの奥行きをもった、机とも床ともイスともいえない地形ユニットが合わさって一つの建築体を形作っています。基本的には机として使うことを想定して、ある寸法体系をもちながら断面方向のズレを持っています。このズレにより、学生は日常使用中で、「700mm上がる」、「400mm下がる」という寸法体系を自然に身体に染みこませていくのです。同時に「700mmは意外に高い」ということにも気づきます。

③ 自分のその瞬間の感覚を探る

デスクトップPCは、その使い手の場所を縛るので、研究室では禁じ手にしています。研究室では基本的にノートPCのみの使用。共用パソコンもノートPCのみです。物に縛られることなく、その瞬間の状況において、自分が使いたい場所を選びとるよう条件付けしています。

この研究室改装プロジェクトは、2011年から開始し今回で5回目の改装になります。

学生たちが自分の感覚を探りながら、自分と建築の関係を、日々新しい気持ちで捉えていける日常の場所として使い込まれていくことを期待し、これからもこのプロジェクトを続けて行きたいと思えます。

【施工中の様子】



【完成後の様子】



武田研究室 OB 会「たけのこ会」

中山 良之 (1975 年卒)

「たけのこ会」の歩みと主な活動

「たけのこ会」という名称は、武田先生が現役の時から自然発生的に存在しており、「武田研究室を巣立った子供達」ということから名付けられました。

それから時が過ぎ、平成 22 年 3 月、六本木ヒルズにおいて「温熱環境～卒研生とともに 38 年～」というタイトルで武田先生の“最終講義”が行われ、それを契機に「たけのこ会」が正式な OB 会 (卒研生 529 名) として再スタートすることとなりました。

活動内容は、定期的な役員会の開催、毎年 5 月の総会においては社会で活躍・貢献した方への表彰、受賞記念メダルと金一封の授与、そして記念講演、秋には先生のご自宅でのバーベキュー大会とセミナーの開催などです。

なごやかな雰囲気の中、平成 29 年 6 月時点で、総会は 8 回、バーベキュー大会は 6 回を数えるに至っております。

最近の活動報告

「たけのこ通信」

平成 23 年 2 月「第 1 回たけのこ会総会」から 6 年が経過し「たけのこ会」の活動をまとめてみようということで、今年 4 月、「たけのこ会」の歴史、活動の報告、これまでの講演・表彰者一覧等に「武田先生の言葉」を加え「たけのこ通信」として、たけのこ会のホームページ (<http://takenoko.me/>) に掲載しました。その内容を一部抜粋し紹介します。

武田先生

『(～略) 集合住宅実験棟や光触媒実験棟を建設し、これらの建物で真面目で優秀な卒研生と深夜まで実験、解析を行い、多数の論文を発表することができた。武田研のみでも卒研生 529 名輩出し、いたるところで活躍している。今も、年 2 回、「たけのこ会」と称して集まり、近況を語り合っている。』

岩浪会長

『(～略) バーベキュー大会ではキンキンに冷やした生ダル、

おいしい肉や魚介など我儘な先生？の要望に応えるのも楽しくもあり、大変でもあります。

総会では、会員の中から社会で活躍し貢献された方を数名選んで表彰し、記念講演をお願いしてきました。こんなに毎回何人も講演者を選んでいたら、途切れてしまうのではと、私なりに心配していましたが、流石大所帯の研究室。まだまだ昭和の時代の卒業生が対象です。

先生は卒業生の一人ひとりの事を良く覚えていて、役員会でも名簿から名前が上がるると色々な話が出てきます。武田研から巣立った会員の活躍を本当に嬉しそうに熱心に聞いています。そして会うと必ず本人に質問を浴びせます。(～略)』

定期総会

5 月 20 日、理窓会館において「第 8 回たけのこ会総会」を開催しました。

昨年の活動報告、出席者の近況報告、新役員の追加や 3 名の方々の表彰を行いました。その方々から「わが人生を顧みて」という題材で、それぞれが歩んできた道やトピックを交えた記念講演がありました。

熱のこもった講演などで予定の時間をオーバーし、残りのテーマや質疑等は懇親会会場まで持ち越されるほどの盛り上がりでした。

バーベキュー大会とセミナーの開催

今年は 9 月 30 日に、武田先生宅の新装なった藤棚の下で 6 回目となるバーベキュー大会及びセミナーを開催します。

去年は、雨が心配されたため、その対策としてブルーシートで藤棚を覆うという作業から始まりました。「断熱技術」のセミナーと活発な意見交換に続いて、バーベキュー会場では若い人たちが初参加の人も加わって、生ビール、ワインなどを飲み、焼き肉や「芋煮鍋」、「もつ鍋」などで舌鼓を打ちながら楽しい時間を過ごしました。



2010 年 3 月 最終講義



武田先生宅でのセミナー①



たけのこ会第 8 回総会



表彰状、記念メダル、金一封



バーベキュー大会



武田先生宅でのセミナー②

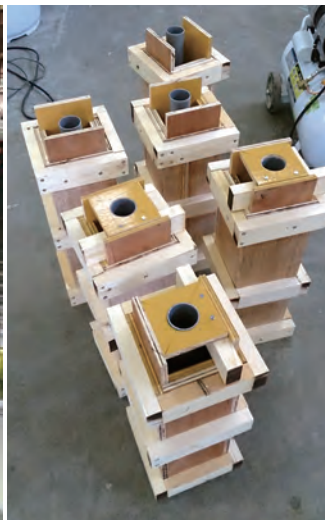
NAA 賞 紹介



受賞者：加古 裕之（かこ ひろゆき）

大学院2年生（平成29年3月修了、兼松研究室）

研究テーマ：除載荷ひずみ追従性試験によるモルタルの接着性評価手法の提案



受賞理由

加古裕之君は、「除載荷ひずみ追従性試験によるモルタルの接着性評価手法の提案」をテーマに修士論文に取り組み、研究の要となる除載荷ひずみ追従性試験機の基本設計から、発注・製造・組み立てに至るまでのプロセスを主導した。

加古君は、学部生時代に「機械工学研究会」に所属し没頭した、自動車の設計・製作の経験を活かし、素材の力学的材料特性、試験機剛性、ばねなどの変形保証機構、長期耐久性、試験作業性や可搬性など多岐にわたる要求事項をひとつひとつ丁寧に検証し、高い信頼性をもって装置を完成させた。複雑かつ精緻な機構の全く前例の無い試験機を開発に導いたその能力は、何物にも代えがたいものづくりの原点ともいえる彼の資産であり、本学における加古君の努力のたまものである。

新規装置開発によりプロジェクトを成功に導いた成果と、加古裕之君の誰も超えることのできない長期に亘る自己研鑽をたたえ、ここに平成28年度NAA賞を授与する。

受賞コメント

この度は名誉ある賞を頂き、大変嬉しく思います。このような評価を頂けたのも、ひとえにご指導くださった先生方、ご協力いただいた企業の皆様、そして研究室の仲間たちのお陰であり、心より感謝いたします。入学より8年、研究や課外活動を通して様々な経験をさせていただきました。躓くこともあれど、実り多き学生生活であったと思います。今後も多くの困難が待ち受けているとは思いますが、大学での学びを糧に、成長を重ねてまいります。



利根運河シアターナイト 2017

9月23日（土）17:00～21:00

運河水辺公園にて、理工学部学生による利根運河シアターナイト実行委員会主催の恒例のイベントが開催されました。

今年も流山市や野田市をはじめ、多くの公共団体とともに、理工学部は創設50周年記念として後援し、野田建築会は特別協賛として協力しました。



平成 27 年度 理工学部建築学科・理工学研究科建築学専攻各賞受賞者リスト

【理工学部建築学科】

卒業論文賞 (一般コース)	最優秀	山名研	加藤 恭輔	旧仏領インドシナにおける鉄筋コンクリート建造物の技術普及に関する研究 -ベトナム・ハイフオンのセメントプラント設立過程とセメント生産の考察を通して-
	優 秀	安原研	入江 慎 酒井 健太郎 佐藤 康行	王澍の建築に見られる「空間の風景化」の手法
	優 秀	垣野研	照井 飛翔 廣瀬 雄一郎	ランドスケープ化されたオランダの playground に関する研究 ~利用者の行動様態から見た設計手法~
	優 秀	垣野研	高橋 傑	ICT を活用した小学校における学習空間の計画 - フィンランドの先進事例を対象として
卒業論文賞 (通年コース)	最優秀	衣笠研	米光 秀哉 草間 孝明	近年の大地震による実被害建物の損傷度合を再現できるモデル化構築の検討
	最優秀	伊藤研	荒井 沙弥伽 亀山 耕太郎	景観評価が地域愛着に及ぼす影響 - 愛知県岡崎市を対象として -
	優 秀	永野研	日野浦 雄高	超高層 RC 造集合住宅を対象とした多質点汎用モデルの構築と 2016 年熊本地震時の建物応答推定
	優 秀	吉澤研	村地 拓也	遮蔽物のある開口部の眺望性評価手法の開発 ~アモーダル補完を利用した知覚心理的指標の提案~
	優 秀	兼松研	内田 航	実構造物調査に基づくコンクリートの中性化と含水率の関係に関する研究
	優 秀	井上研	岡田 彩見	採光フィルムによる室内光環境向上効果に関する研究 ~実オフィス空間における運用の検討~
卒業設計賞	最優秀	垣野研	照井 飛翔	小さな生態系
	優 秀	安原研	入江 慎	都市追憶記
	優 秀	安原研	佐藤 康行	建築的身体性
	優 秀	安原研	佐々木 穂乃	郊外に在るということ
	優 秀	安原研	河鱈 公晃	次世代型商業空間
学業優秀賞	1 位	井上研	岡田 彩見	
	2 位	永野研	日野浦 雄高	
	3 位	永野研	神戸 寛史	

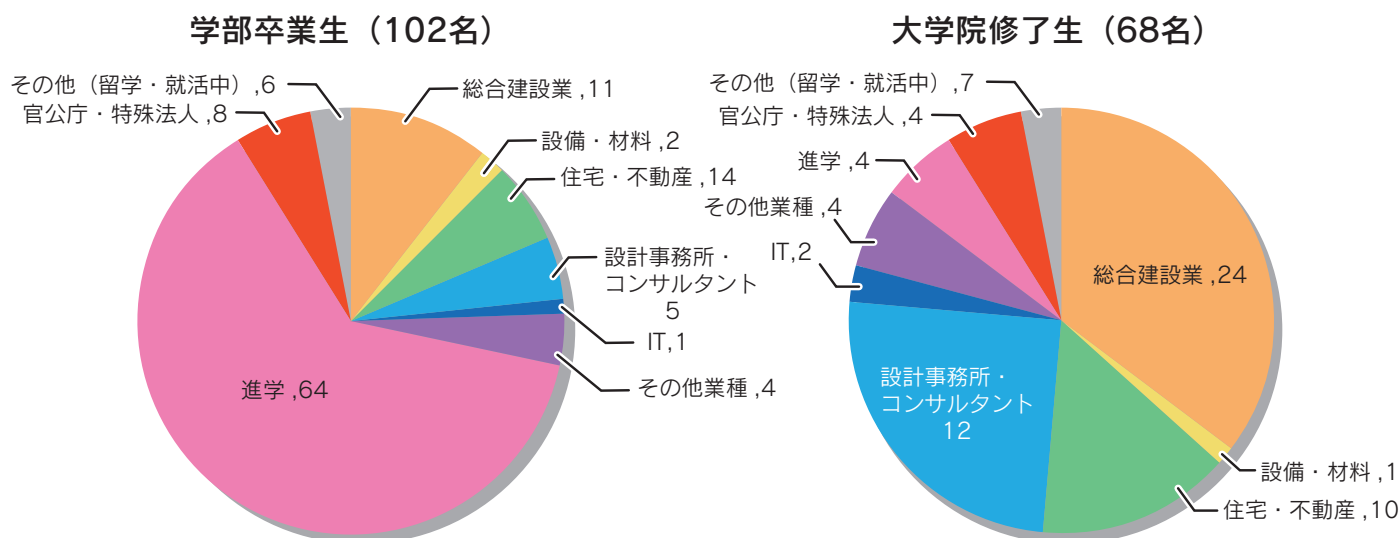
【理工学研究科建築学専攻】

修士設計賞	最優秀作品	岩岡研	堀越 一希	湯河原の家
	優秀作品		宮坂 岳見	新宿メガストラクチャー計画 ~メガストラクチャーによる、アップデートを前提とした都市計画~
	優秀作品		林山 赳大	身体の動きと領域の輪郭
修士研究奨励賞	最優秀賞	山名研	首代 佳吾	計画都市ダラットの形成に関する研究 - ヒル・ステーションとして要求された機能に着目して -
	優秀賞	北村研	細谷 佳雅	変形増幅機構に耐震ブレースを併用した制振構造の地震応答に対する性能評価
	優秀賞	井上研	丹羽 亮太	全電化及びガス併用戸建住宅における用途別エネルギー消費実態に関する研究
	優秀賞	衣笠研	月俣 慶彦	地震後継続使用性を確保できるコンクリート系共同住宅の設計法に関する研究 ~近年の巨大地震で被災した実建物を用いた検討~
	優秀賞	永野研	成島 慶	超高層集合住宅の全国データベースに基づく大地震時における最大平均層間変形角の空間分布の推定

【共 通】

NAA 賞		兼松研	加古 裕之	
-------	--	-----	-------	--

平成 27 年度 理工学部建築学科・理工学研究科建築学専攻各就職先リスト



UNGA PRIDE



【OB 活動紹介コーナー：写真集出版のご案内】

写真家 勝田尚哉氏(1985年に理工学部建築学科(初見研)卒業)

この15年来撮り貯めてきた建築・土木のアンダーコンストラクション写真で構成した写真集がこの9月に発売となりました。

タイトル：「建設中。」 写真・文：勝田尚哉 定価 1,900円(税別) 大型書店、Amazon などでお求め頂けます。

11月28日～12月4日の期間で出版記念写真展も開催されます。詳しくはギャラリーホームページ <http://americabashigallery.com> をご覧ください。



【2017年イベント情報】

野田建築 50周年大同窓会 (ホームカミングデー 2017・理工学部創設 50周年祝賀会と同日開催)

日時 10月29日(日) 10:00～15:00 / 講義棟 K403 教室
企業OB会展・野田建築会展
13:00～15:00 / コミュニケーション棟ホワイエ
卒業写真展
15:30～17:10 / 12号館 1211 教室
50周年記念コンペ「利根運河 夢の架橋」表彰式
三分一博志氏 記念講演会
17:30～19:30 / コミュニケーション棟
懇親会

【2018年イベント情報】

築理会野田建築会合同新年会 (予定：詳細は下記HPでお知らせ)

日時 1月17日(水) 18:00～20:00 / PORTA 神楽坂・理窓会倶楽部

第11回定期総会 (予定：詳細は次号会報・HPほかにてお知らせ)

日時 6月2日(土) 定期総会 14:00～15:00 / 場所未定
懇親会 16:00～18:00 / 場所未定

会費納入のお願い

NAAでは会則により、2017年度(2017年4月1日～2018年3月31日)の普通会員年会費として3,000円を徴収しています。これらは会報の発行、OBと語る会の開催、見学会等の研修、NAA賞の授与、NAAサイトの維持その他NAAの活動に有効に活用されています。こうしたNAAの運営に向け、同窓生の皆様のご理解とご協力をいただき、同封の振込用紙にて会費納入をお願いいたします。(お手数ですが、納入者確認のため、振込用紙には卒業年を必ずご記入ください)

※会費納入がない場合は、今号を最終発送とする場合があります。
(注) 年度会費の二重払いを避けるため、ご不明の場合は右記HPでお問合せください。

野田建築会会報 VOL.38 2017 AUTUMN

2017年10月1日

編集：会報部会(とりやま あきこ / 山崎 晃弘)

発行：東京理科大学野田建築会

郵便振替 口座番号 00130-9-27644 東京理科大学野田建築会

お問合せおよびメルマガ登録はこちらから——

<http://www.rikadaikenchiku.com>